

貴重な設備



津軽鉄道では、鉄道博物館に展示されるレベルの設備が今なお現役で稼働しています。これらのレトロな設備は、鉄道ファンの心をわしづかみしています。

腕木式信号機

津軽五所川原駅～十川駅、嘉瀬駅～金木駅に設置されている信号機で、羽根の上下により進行・停止の合図をしています。駅から手動操作されており、現役稼働しているのは、津軽鉄道だけという貴重な設備です。津軽鉄道で列車と腕木式信号機を入れて撮影してみませんか？



タブレット交換

単線の線路で列車衝突を防ぐため、金属製の円盤（タブレット）と棒状のスタブを持った列車だけが線路を走ることができる仕組みで、列車交換が行われる金木駅で行われています。

全国でも3路線だけでしか見ることができない光景ですので、乗り遅れないように注意しながら、撮影してみてください。



転車台

転車台とは、一方向にしか進むことができない機関車やラッセル等の方向転換に使う装置です。津軽中里駅の転車台は、1930年から1988年まで使われていた本州最北の転車台で、2017年にクラウドファンディングにより30年ぶりに復活しています。



津軽半島観光アテンダント

津軽鉄道に乗車し、お客様の時間と要望に合わせた観光案内をいたします。当然ながら、ご案内は津軽弁です。せば、津軽鉄道で待ちゅーよー！



津軽鉄道キャラクター つてゅー

撮影マナー

みんな守って気持ち良く

- 許可なく田畑などの私有地に入らない！
- 線路や踏切内に絶対に入らない！
- 電車に向けフラッシュは使用しない！
- 迷惑駐車をしな！
- 混雑時は、三脚の利用禁止！

譲り合って撮影しましょう

津軽鉄道カード

「津軽鉄道の四季」をテーマに、フォトコンテストを実施し、受賞作品を基にこのマップとカードを作成しました！津軽鉄道に乗って、12枚のカードを集めよう！

津軽鉄道有人駅、沿線観光施設等で配布しておりますので、QRコードを読み込んで設置場所等をご確認ください。



お問い合わせ



青森県西北地域県民局 地域連携部
〒037-0046 五所川原市字栄町10
TEL 0173-34-2175 FAX 0173-34-2168

カンパ



津軽鉄道 フォトマップ

鉄道撮影の達人たちが
最高の撮影ポイント教えます！



秋 春
冬 夏



津軽鉄道の車輛

昭和5年開業の本州最北の私鉄。夏の「風鈴列車」、秋の「鈴虫列車」、冬の「ストーブ列車」など四季折々の企画列車には全国から観光客が訪れます。



ストーブ列車

(オハフ331 オハ462)
ストーブ列車の客車として利用されているオハフ331は1948年、オハ462は1954年の製造で、1983年に国鉄から譲渡され、客席の一部を撤去してダルマストーブが設置された国内唯一の列車で、多くの方々に愛されています。



DD352ディーゼル機関車

1959年に製造された機関車で、現在はストーブ列車の機関車として活躍しています。SLでも見られる動輪をロッド（連接棒）で繋いで駆動するロッド駆動式ディーゼル機関車で日本車籍を持っているのは、2台しかない貴重な機関車です。



ラッセル車 (キ101)

1933年に鉄道省大宮工場で製造され、1967年に国鉄から譲渡されたキ100形は、老朽化と除雪モーターカーへの転換により、現役稼働は、津軽鉄道と弘南鉄道の3両のみとなっています。ウィングを広げて豪快に雪を蹴散らす雄姿は、年に数回しか見ることができない貴重な光景で津軽五所川原駅に停車していることが多いです。



走れメロス号 (津軽21形気動車)

1996年に2両、2000年に3両製造され、実りの秋を連想されるオレンジカラーが特徴です。津軽鉄道では、初めて冷房とワンマン設備が設置されています。



慎吾列車 (キハ22028)

1997年にテレビ番組の企画で香取慎吾さんが地元の小学生とともにイラストした車両で、嘉瀬駅に停車しています。20年後の2017年に再度香取慎吾さんと当時の地元メンバーや現在の小学生と再塗装した「世界に一つだけの列車」です。

